

A vertical decorative element on the left side of the slide, featuring a grid of small squares in various colors (blue, green, orange, and dark blue) scattered across a light gray background.

# 第13期定時株主総会

株式会社C&Gシステムズ

2020年3月26日

# 事業報告

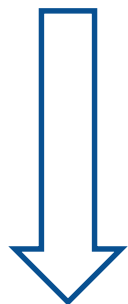
（招集ご通知 11～34ページに記載）

## ① 既存の基幹収益源の維持・拡張

招集通知12～13ページ

### 国内の状況

- 金型関連業界：米中貿易摩擦の影響等により厳しい状況で推移  
国内外ともに設備投資を抑制する動き



パブリックショーへの出展、  
販売パートナー企業・生産財メーカーとの  
イベント共催等協力体制を強化

- 新規開拓および他社製品からの置き換えを狙った営業展開を推進

### 研究開発

- 主力製品の内部構造の刷新、操作性改良による  
製品競争力向上に向け、リニューアル開発を推進



## ① 既存の基幹収益源の維持・拡張

招集通知13ページ

### 保守サービス事業の状況

- 定期的な製品バージョンアップ、ユーザーへの技術サポート提供による顧客満足度向上

保守更新率  
90%維持

CAD/CAMシステム等事業における保守サービス  
による売上の割合

62.7%

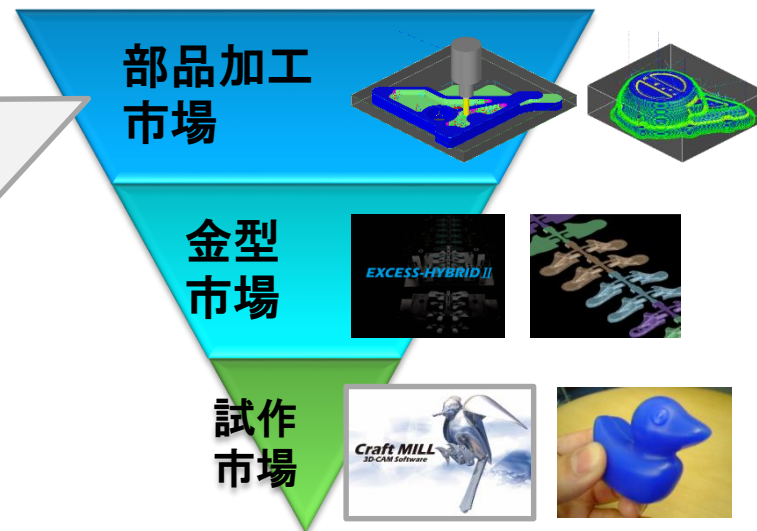
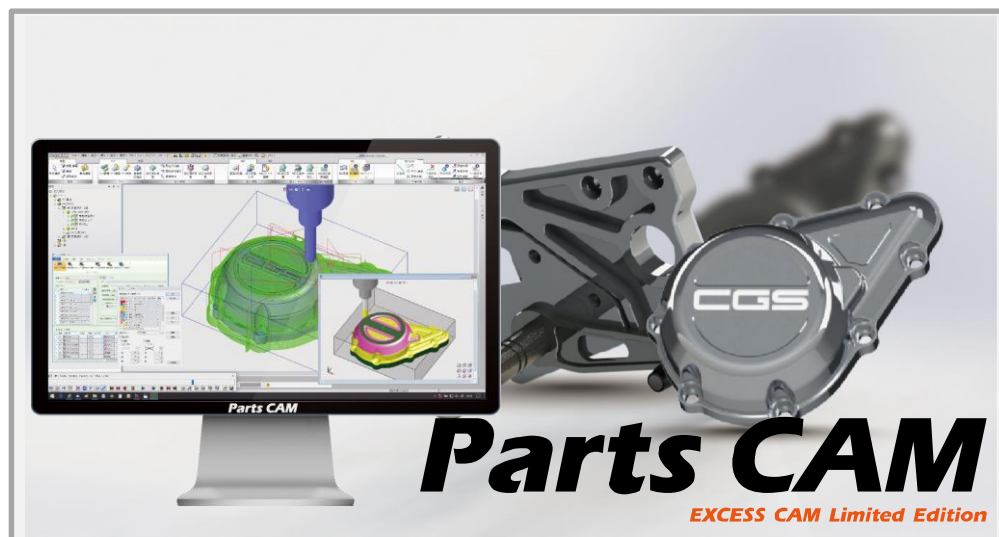
## ② 販売領域の拡大

招集通知13ページ

### 金型隣接市場向け製品開発

- 現有資産の有効活用  
…金型市場の深掘りを推進⇒部品加工市場、量産市場などの新規市場開拓

※市場サイズイメージ

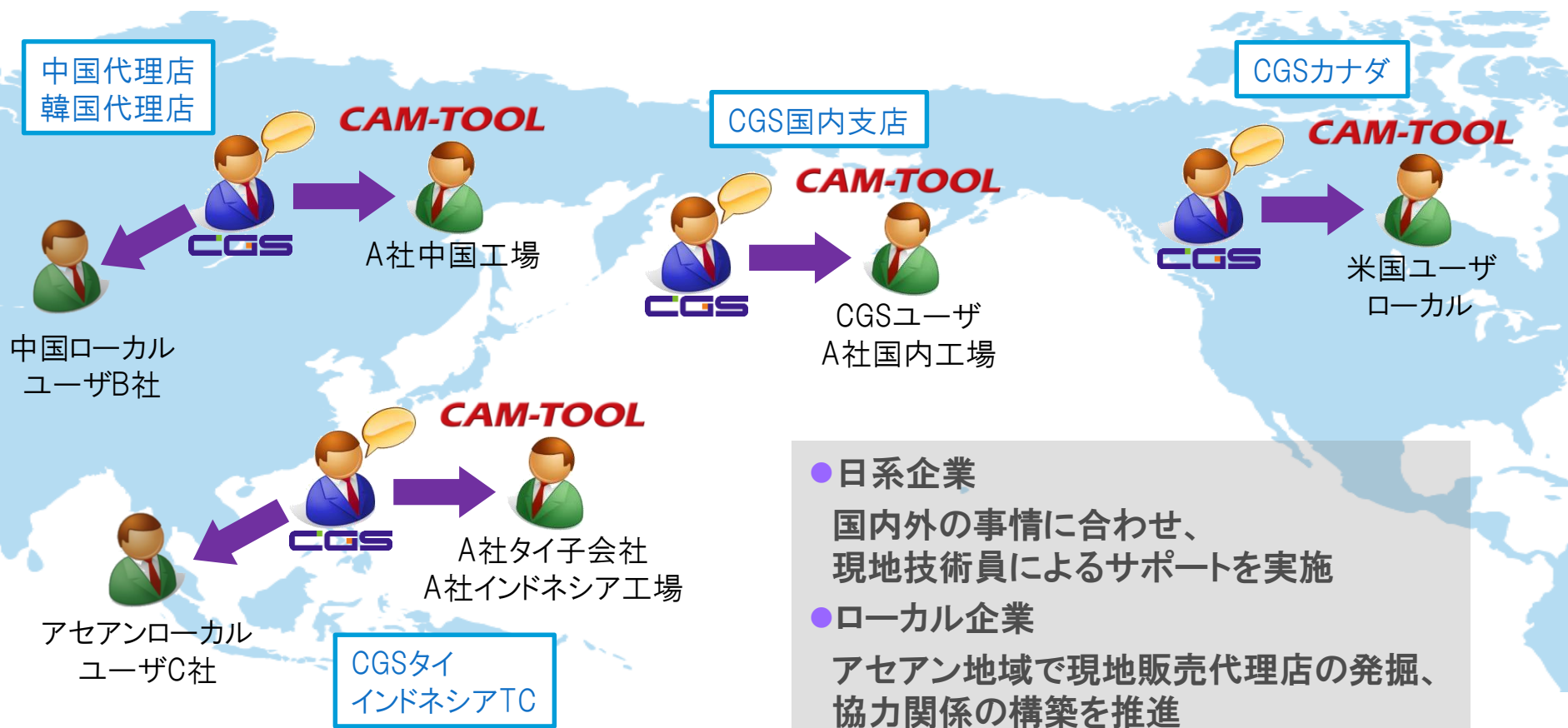


- ・ 2019年～ 開発を継続。11月より先行販売を開始、「MECT2019」にて初展示
- ・ 本格販売を2020年2月から開始。

## ② 販売領域の拡大

招集通知13ページ

### 日系企業への直接販売&ローカル企業への間接販売



## ② 販売領域の拡大

招集通知13ページ

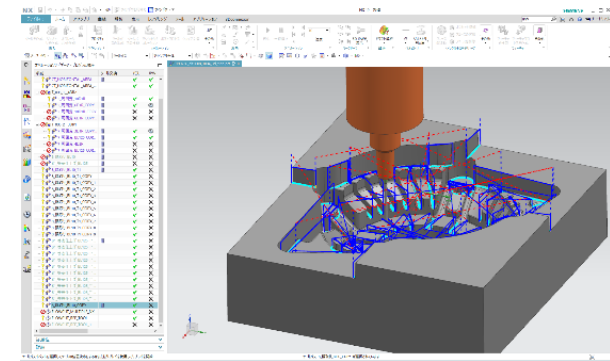
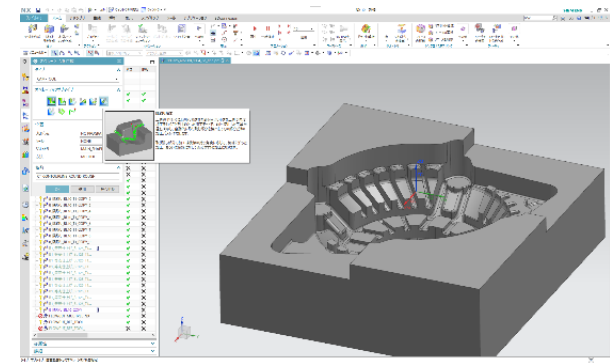
### CAMのマルチプラットフォーム化拡大

#### **CAM-TOOL** for NX

～米シーメンス デジタルインダストリーズソフトウェア社「NX」への当社「CAM-TOOL」の搭載～

- 自動車メーカー・サプライヤーの基幹CADとして活用されている「NX」
  - ・・・TIER1部品メーカーも追随し利用拡大の動き
- 「NX CAM」の機能を「CAM-TOOL」で補完
  - ・・・製品設計から金型加工まで統合された最適なシステム環境を構築

- ・ 2019年～ 開発を継続
- ・ 2020年1月より株式会社電通国際情報サービス様を販売代理店として国内販売を開始
- ・ 海外向けは2020年下期より販売網整備開始



当社はSiemens Digital Industries Software Inc.のソフトウェア&テクノロジー・パートナーです。  
NXは米国およびその他の国におけるSiemens Digital Industries Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

### ③ 技術の深耕によるIoT分野等への市場拡大

招集通知14ページ

## IoTと連携した金型工程管理システム 「AIQ(アイク)」の拡充

### ■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」

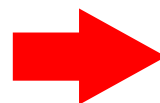
さまざまな企業形態に応じた構成・カスタマイズが可能



大手グループ  
企業へ展開



生産管理向け  
機能を搭載



金型製造業以外にも  
市場を拡大

・ 工程管理から生産管理システムへと発展させるべくさらに機能の強化を推進

## ④ 新規事業の創出

招集通知14ページ

### 3D積層造形関連事業の育成

(※)AM=Additive Manufacturing:付加製造

## CAM-TOOL AM

～金属または樹脂AM(※)機能を搭載した同時5軸制御対応ハイブリッドCAMシステム～

積層と切削×同時5軸の  
自由度の高い  
加工工程設計

2種類の造形方式：  
国内工作機械  
メーカー4社の  
AM複合加工機に対応



- ❑ 金属積層用：LMD(Laser Metal Deposition)方式
- ❑ 樹脂積層用：FDM(Fused Deposition Modeling)方式

- ・ 積層造形市場はハード、ソフトともに普及期の前段階
- ・ AM複合加工機メーカーとの協力体制を図り、市場へのAM啓蒙活動を推進。

- ・ CAM-TOOL AM(LMD)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業開発機構(NEDO)より技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)が受託した技術開発事業の成果を、株式会社C&Gシステムズが活用し開発したものです。
- ・ CAM-TOOL AM(LMD)は、株式会社金属積層造形サポートシステムが提供する造形レシピ、熱変形シミュレーションサービスとの連携も可能としています。

## 金型製造事業の状況

招集通知15ページ

- 米中貿易摩擦の長期化による影響が懸念され、先行き不透明な状況が継続
- 金型製造子会社は年間を通して既存顧客からのプロジェクト受注および新規開拓を積極的に実施



# 事業の経過およびその成果

招集通知11～12ページ

## 当連結会計年度の経営成績

(単位:百万円)

|                     | (2018年) | 2019年 |
|---------------------|---------|-------|
| 売上高                 | 4,066   | 4,197 |
| 営業利益                | 230     | 309   |
| 経常利益                | 252     | 329   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 121     | 181   |

- 前期比で増収増益
- 金型製造事業の売上が伸長し収益に貢献

# 事業セグメント別業績

招集通知12ページ

## CAD/CAMシステム等事業

(単位:百万円)

|       | (2018年) | 2019年 | 前期比 |        |
|-------|---------|-------|-----|--------|
|       |         |       | 増減額 | 増減率    |
| 売上高   | 3,522   | 3,527 | +5  | +0.1%  |
| 営業利益  | 196     | 240   | +43 | +22.3% |
| 営業利益率 | 5.6%    | 6.8%  |     |        |

- 製品販売は前期との比較で微増
- 開発体制の内製化を強化、外注費を削減したことによるコスト抑制効果  
⇒ 利益増に貢献

# 事業セグメント別業績

招集通知12ページ

## 金型製造事業

(単位:百万円)

|       | (2018年) | 2019年 | 前期比  |         |
|-------|---------|-------|------|---------|
|       |         |       | 増減額  | 増減率     |
| 売上高   | 544     | 670   | +125 | +23.0%  |
| 営業利益  | 33      | 69    | +35  | +105.7% |
| 営業利益率 | 6.2%    | 10.3% |      |         |

- 第2四半期に大きく収益が伸長
- 下期にかけては低調に推移したが第2四半期業績がカバー  
⇒ 前期比で大幅な増収増益

# その他の現況 一覧

|                        |       |          |
|------------------------|-------|----------|
| ●設備投資等の状況              | ..... | 16ページ    |
| ●資金調達等の状況              | ..... | 16ページ    |
| ●財産および損益の状況            | ..... | 19ページ    |
| ●重要な親会社および子会社の状況       | ..... | 20ページ    |
| ●主要な事業内容               | ..... | 20ページ    |
| ●主要な事業所                | ..... | 21～22ページ |
| ●従業員の状況                | ..... | 23ページ    |
| ●主要な借入先および借入額の状況       | ..... | 23ページ    |
| ●その他当社グループの現況に関する重要な事項 | ..... | 23ページ    |
| ●会社の株式に関する事項           | ..... | 24ページ    |
| ●会社の新株予約権に関する事項        | ..... | 24ページ    |
| ●会社役員に関する事項            | ..... | 25～26ページ |
| ●会計監査人の状況              | ..... | 27～28ページ |
| ●会社の体制および方針            | ..... | 29～33ページ |

# 連結計算書類の概要

（招集ご通知 35～36ページに記載）

# 連結貸借対照表(資産の部)

招集通知35ページ

(単位:百万円)

前期末 4,939

今期末 5,033

|            |       |
|------------|-------|
| 流動資産 3,266 |       |
| 有形固定資産     | 257   |
| 無形固定資産     | 19    |
| 投資その他の資産   | 1,395 |
| 固定資産 1,673 |       |



|            |       |
|------------|-------|
| 流動資産 3,366 |       |
| 有形固定資産     | 289   |
| 無形固定資産     | 19    |
| 投資その他の資産   | 1,358 |
| 固定資産 1,666 |       |

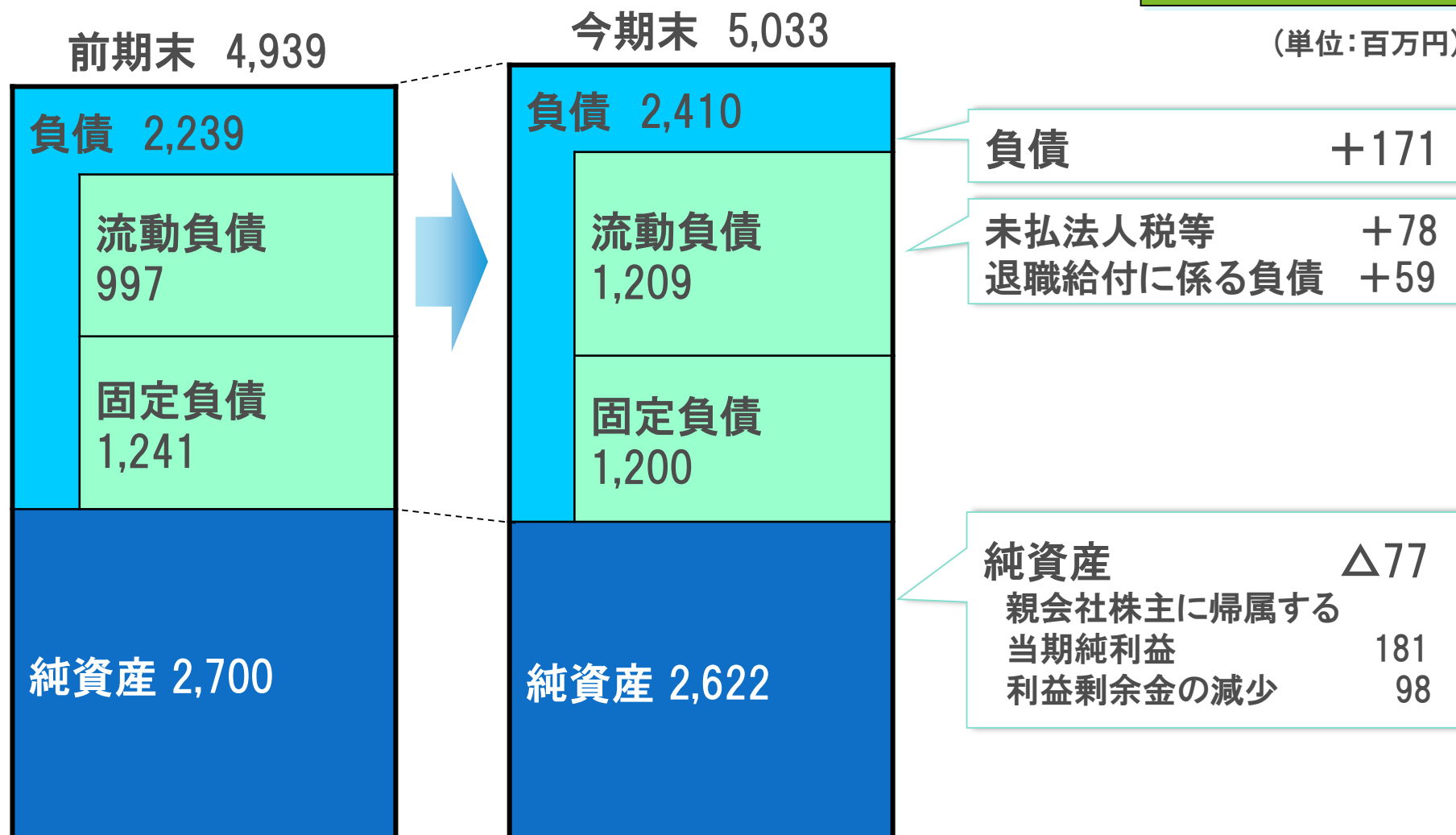
総資産  $\Delta 77$ 

|           |     |
|-----------|-----|
| 現金及び預金    | +48 |
| 受取手形及び売掛金 | +21 |

# 連結貸借対照表(負債・純資産の部)

招集通知36ページ

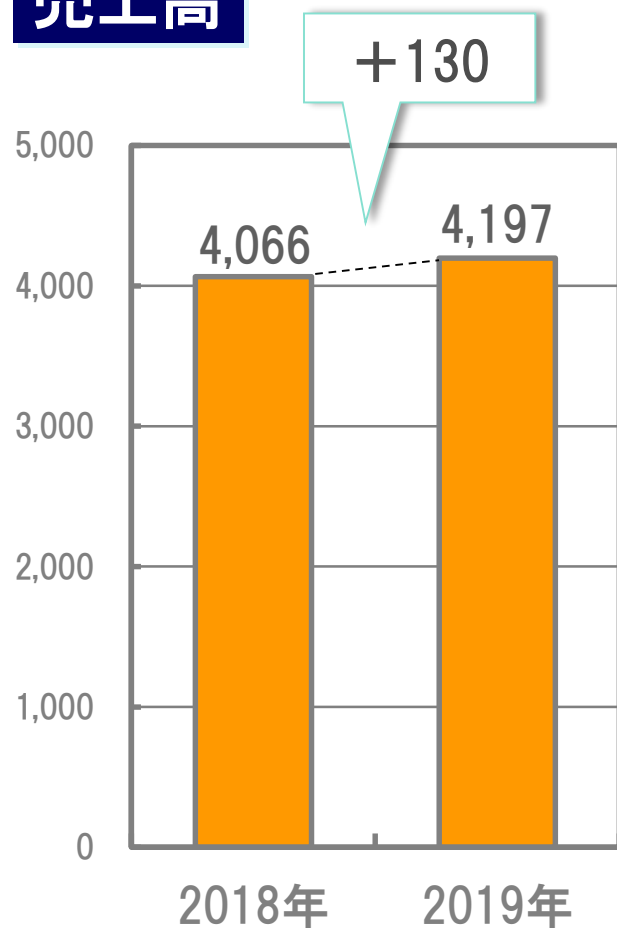
(単位:百万円)



# 連結損益計算書

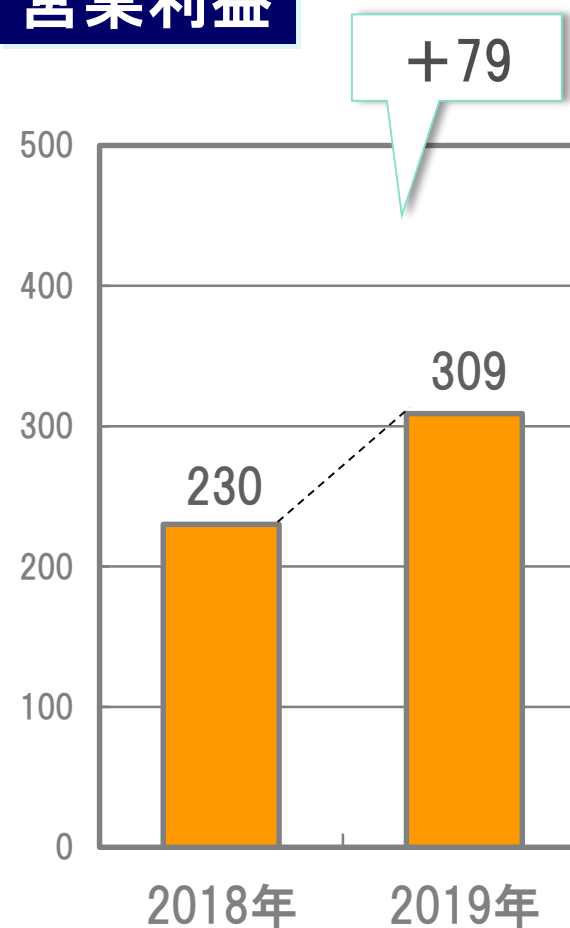
招集通知36ページ

## 売上高



## 営業利益

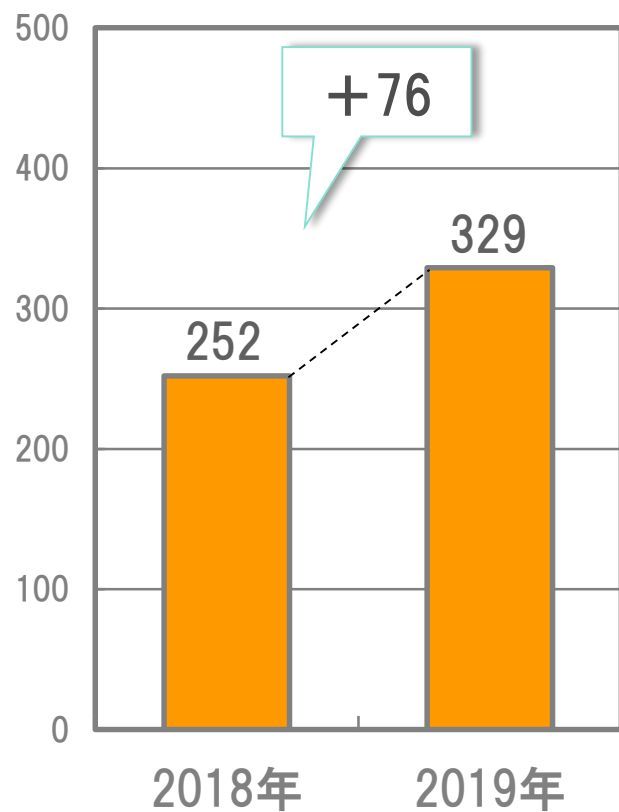
(単位:百万円)



# 連結損益計算書

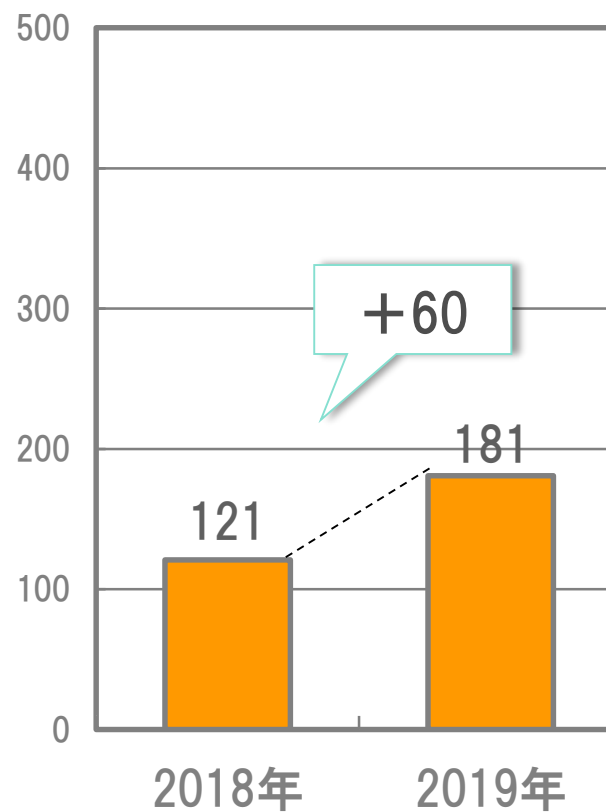
招集通知36ページ

## 経常利益



## 親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:百万円)

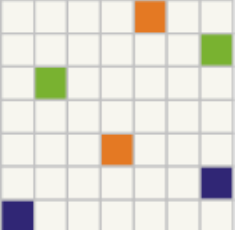


# その他の計算書類および注記表

- 連結株主資本等変動計算書 および個別の計算書類 …… 37～40ページ
- 連結注記表および個別注記表 …… 当社ウェブサイト

# 対処すべき課題

(招集ご通知 16～18ページに記載)



# 対処すべき課題

招集通知16～18ページ

① 海外ローカル市場への浸透

② OEM事業の推進

③ 新規事業の育成

# 株主還元について

招集通知24ページ

## 自己株式の取得

- 株主還元および機動的な資本政策を可能とするため  
自己株式の取得を実施

2019年11月14日発表(取得期間:2019年11月15日～2019年11月29日)

|            |             |
|------------|-------------|
| 取得した株式の総数  | 200,000株    |
| 株式の取得価額の総額 | 85,030,100円 |

# 株主還元について

招集通知33ページ

## 配当について

|                           | 2019年度 実績 | 2020年度 予想 |
|---------------------------|-----------|-----------|
| 期末配当                      | 10円       | 10円       |
| 親会社株式に帰属する<br>当期純利益※(百万円) | 181       | 193       |
| 配当性向                      | 53.6%     | 50.6%     |

業績連動による配当を継続的に実施すると同時に  
企業価値の最大化を目指す

# 決議事項

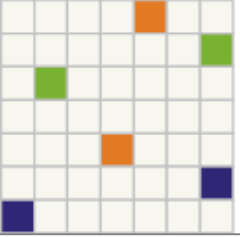
（招集ご通知 7～10ページに記載）



# 決議事項

招集通知7～10ページ

- 議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)  
6名選任の件



# 本日の審議方式

報告事項および決議事項の  
議案に関し、一切のご発言を  
この場で一括してお受けいたします

その後は決議事項につき  
採決のみをさせていただきます



ご意見・ご質問に際しては

出席番号とお名前を  
お願いいたします

一問一答とさせていただきます

# 議案

## 取締役

（監査等委員である取締役を除く。）

## 6名選任の件

# 第13期定時株主総会

株式会社C&Gシステムズ

2020年3月26日